

## 和紙の振興



根岸成美議員  
が町に問う！

答弁 課題の把握と解  
決策を協議します

## 和紙印刷に対する支援等は

Q 当町はもとより、県内の公立高校の多くで、小川和紙を使った「卒業証書」が採用されている。また、卒業証書に用いる和紙は、一枚一枚「溜漉き」による方法で作製し、印刷が施されているが、和紙に印刷する技術の継承や、人材の確保・養成など、課題もあると捉えている。対策・支援等は。

A にぎわい創出課長 手漉き和紙の技術は、後継者育成事業において、卒業証書の溜め漉き研修を行い、作製の即戦力となるよう努めています。また、印刷技術についてですが、現時点では具体的な協議等は行っていません。今後は、印刷業との連携も必要と感じていますので、課題の把握及びその解決策について関係者と協議していきます。

Q 和紙の拠点づくりとして、埼玉伝統工芸会館や和紙体験学習センターを含め、槻川や仙元山など、周辺にある自然環境を活用した観光ゾーンの将来像・構想は。

A にぎわい創出課長 伝統産業や文化的資源・自然資源が集積するエリアと位置づけ、「賑わいと交流の拠点」として、駅周辺拠点との連携強化を目指しています。

当町が誇る自慢の和紙の再認識を

Q 中爪地内に計画中の太陽光発電施設の下流には、100戸を超える集落と広大な農地がある。これらは上流が開発・更地化されると、降雨等による甚大な被害の発生が懸念されるが。

A 環境農林課長 開発行為による森林機能の保全に関し、水害を発生させる恐れがないことや、洪水を調整する施設が設置されているなど、許可権者である県が厳密な審査を行います。町も関係法令に基づき、適切な事業計画になるよう、事業者に求めています。

Q 新型コロナ対策として、気軽に無料で受けられるPCR検査を。A 健康福祉課長 令和3年12月に、県がPCR検査等無料事業を開始しました。詳細は、特設のホームページで公開しています。

答弁 適切な計画になるよう求めます

## 太陽光発電



本多重信議員  
が町に問う！

答弁 適切な計画になるよう求めます

## 降雨等による被害の回避は

Q 「行政のデジタル化」について、進捗は。

A 総務課長 国の自治体DX推進手順書では、「デジタル社会の構築に向けた6つの重点事項として、「情報システムの標準化・共通化」「マイナンバーカードの普及・促進」「行政手続きのオンライン化」「AI・RPAの利用促進」「テレワークの推進」「セキュリティ対策の徹底」に取り組む」ととされましたが。いずれも順次、対応していく必要があります。

Q マイナンバーカードの普及は、行政のデジタル化を推進する上で、必須の取組と考えるが、見解は。

A 町民課長 本人確認の公的な書類としての利用はもとより、デジタル社会における様々な行政サービスの提供に必要なツールと

マイナンバーカードへの一元化が進めば…

を考えています。また、すでに、コンビニ交付サービスや、各種手続きとの一体化も始まっています。

さらに今後は、運転免許証との一体化や行政手続きのワンストップ化など、私たちの生活とより密接に結びつき、普及が進むと捉えています。引き続き、マイナンバーカードの普及に努めています。

町の住民は勿論、移住者にも住みやすい町づくりを期待します。(S・Iさん 34代)

候補者の話をちゃんと聞いて判断したいな。(S・Hさん 40代)

新町長さん、季節ごとに見られる景色を守ってください。(S・Iさん 12歳)

町長、学校跡地に早く高齢者施設を作つて欲しい。(S・Sさん 73歳)

おがわぎかわ No.103 令和4年3月定例会

19

おがわぎかわ No.103 2022.5.1発行